

ミツバチの飼育による生物多様性および生態系の 保全活動



活動の場所

愛知県豊川市加山興業千両プラント
に隣接した当社のミツバチファーム



活動目的

環境指標生物であるミツバチが自社屋内で生態系を確保することにより、周辺環境の生物多様性の生態系も保全していくことを推進する。また採取されたハチミツの成分分析を行うことで、周辺環境に悪影響を与えていないことを確認する。

活動内容

○自社屋内でのミツバチの飼育



○採取されたハチミツの成分分析

○生物多様性保全に関する環境教育の実施



○地域における採集会の開催

○カーボンオフセットの実施

※60期(2020年9月～2021年8月)では、環境省のモデル事業に参加し、弊社が提供している蜂蜜の年間生産活動(1,465kg-CO₂)からイベント(5,979kg-CO₂)での販売までをカーボンオフセットした。



PRしたいポイント

廃棄物の中間処理を生業として資源循環に貢献している当社では、プラントにすぐ隣接する場所でハチミツを飼育している。ミツバチは環境指標生物として、きれいな環境でしか生きることができないとされており、ミツバチを飼育していることが、生物多様性の保全に貢献すると同時に当社の廃棄物処理による周辺への環境負荷が少ないということの証明にも繋がっている。

活動効果、今後の展開 等

○2021年9月時点で29群、推計45万匹のミツバチが敷地内で活動をしている。

○採取したハチミツは毎年成分分析を行っており、重金属類などの有害物質が含まれていたことはない。

○今後は引き続き取り組みを継続していくことで生物多様性保全に貢献していく。

加山興業株式会社 活動紹介URL

<https://www.kayama-k.co.jp/csr/sdgs#tabs-10>